

第4章 基本方針及び計画の目標

本県は、日本海から太平洋にまたがる広範な県土を有しており（総面積 8,392 km²）、その面積は、東京都、神奈川県、埼玉県の合計に匹敵する。その土地利用状況は、森林が 67.2 %、農用地が 9.8 %、宅地等が 7.3 %ほかである。

また、人口は約 557 万人と全国 8 位の規模であるが、その大半は阪神から播磨地域にいたる瀬戸内海沿岸部に集中している。

産業について見れば、本県の産業は、製品出荷額について全国シェアの 4.7 %を占め全国第 7 位となっており、中でも第 2 次産業、特に基礎素材製造業（鉄鋼、化学等）の比率が高い。その一方で、清酒、皮革、ケミカルシューズ等の地場産業も盛んであり、全国トップクラスの地位を占めている。

農漁業の分野では近畿の中で農業粗生産額の 32 %、漁業粗生産額の 55 %を占め、近畿有数の農漁業県であり、たまねぎや肉牛、のり等、全国的に有名な生産品も多い。

さらに、7 年前の平成 7 年 1 月 17 日には、阪神・淡路大震災という未曾有の都市型災害を経験したが、この経験を通じて、ボランティア活動の輪が広がるとともに、災害廃棄物対策等の貴重な体験も得てきた。

このような、兵庫県の地域特性や廃棄物の処理状況と課題を踏まえ、持続可能な循環型社会の実現を目指していく。